

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール(グループホームコスモス相老Ⅱ) R7.12.1 (月)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている 12.5% B. ほぼできている 75% C. あまりできていない 12.5% D. ほとんどできていない	職員が出勤時出入りする事務所に理念は掲示し意識するようにしている。常に振り返りを心懸けている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている 12.5% B. ほぼできている 62.5% C. あまりできていない 25% D. ほとんどできていない	コロナ以降地域の方々との交流は出来ていない。お隣のコンビニへは入居者様と買物へ行ったりしている位で地域との関係や関わりを増やすように考えていきたい。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている 50% B. ほぼできている 50% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の内容を共有できるようにまとめ改善点や注意出来る所は話し合いを行っている。玄関の自動ドアはご意見頂き、直ぐに対応し皆さんの声を大切にしていきたい。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている 62.5% C. あまりできていない 37.5% D. ほとんどできていない	必要な申請や届け出は定期的に行い、不明点があれば市役所に相談し協力して頂いている。運営推進会議に出席して頂き意見を頂戴している。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている 75% B. ほぼできている 25% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や委員会も定期的に設けており、職員間で共有している。玄関は道路に面している為、防犯や安全の為に施錠している。その際ご家族様や入居者さまへは説明している。玄関にセンサーを置き誰か通ると鳴るようになっている。	・玄関の施錠について	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則としては玄関の施錠は避けるべきだが、離設時の事故や防犯対策として施錠をしている。利用者様の安全面を最大限考慮しての対応を実施しており、入居者様・ご家族からのご理解をいただいている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている 87.5% B. ほぼできている 12.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様に定期的に行っている。不適切な対応と感じる時は、お互い注意するよう話せる環境となっている。	・虐待について	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヵ月に1度、法人内他事業所と合同で虐待防止・身体拘束に関する委員会を開催している。自社が関係する案件は出ていないが、虐待やネグレクトに関する事例の共有を行っている。今後も全スタッフ共通の認識を持ち、虐待を予防していく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている 100% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	こちらでの生活を安全かつ快適に過ごせる自立支援は心懸けいつまでも自分のことは、自分でするを出来るだけ持続できるように支援している。成年後見制度は必要な時は活用する。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている 100% B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は出来るだけ2人で対応し足りない所は補足し説明している。不明点があった場合は理解して頂ける様に説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている 75% B. ほぼできている 25% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時やケアプラン時にご家族の意見や要望を聞いている。	・ご家族様との交流について ・面会時間等の改善案について	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前より、ご家族様の意見が反映されやすい様に意見箱の設置を検討しているが、実施できていない。面会規制に関するご要望をいただいた際は、社内感染症対策室で検討し、緩和が為された。外出・外泊時は感染リスクが高まる事も考えられる為、注意喚起している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている 37.5% B. ほぼできている 50% C. あまりできていない 12.5% D. ほとんどできていない	年2回の面談あり、疑問や意見を管理者は聞いて、上司へも確認をしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている 12.5% B. ほぼできている 62.5% C. あまりできていない 25% D. ほとんどできていない	賃金面では物価高騰の為の一時金を給付して頂いたりしている。	・離職状況について	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間の離職率は全社員の約2割。入職もある為、社員の総数は大きく変わっていない。離職の原因としては人間関係が多い。桐生・太田・前橋に施設があるので、人事異動も含めて離職率の低下に努めている。円滑な人間関係の構築や休憩時間の確保など、管理者を中心に改善を図っていく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている 12.5% B. ほぼできている 75% C. あまりできていない 12.5% D. ほとんどできていない	定期研修を受け職員は研修報告書を記入し、理解できない所や疑問点を記載する場所があり記入があった場合は分るように噛み砕き説明している。9月に認知症月間のイベントのチラシ等閲覧してもらっている。	・職員の意欲向上・評価について	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内の研修はもちろんの事、社外研修の案内も行っている。昨年の給与改定より、人事考課もより明確なものになった。各施設の管理者がスタッフ一人ひとりと面談し、聞き取りを行う機会を新たに設けた。その際、各個人に求める人物像や施設内の役割を明確に伝えている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている 12.5% B. ほぼできている 75% C. あまりできていない 12.5% D. ほとんどできていない	グループホーム管理者会議を行い日頃の業務上での不明点等を意見交換し、サービスの向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている 62.5% B. ほぼできている 37.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の掃除・洗濯たたみ・テーブルやお盆拭き等のできる事は職員と一緒にして頂いている。役割をもって生活して頂いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている 37.5% B. ほぼできている 62.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が同行し散歩へ出かけたり入居前に行っていた馴染みのうどん屋へ出かけたりにしている。入居者様のご姉妹が来訪して頂いたりしている。今後も外出や交流の機会を設けていきたい。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☒ A. 充分にできている 50% ☐ B. ほぼできている 50% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員は2～3名の入居者様を担当しており、信頼関係を深め要望や意向を聞いている。面会時や電話時にご家族様の話を聞いて参考にし、個別支援に活かしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 充分にできている 75% ☐ B. ほぼできている 25% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	1ヶ月に1度の認知症会議を設けている。個別のモニタリングも必要時行い3ヶ月に1度ケアプランの作成をしている。評価も毎月行い必要の際はご家族へ説明や同意を頂いている。	・ケアプラン作成について	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	認知症チーム推進加算を算定している。月に1度、入居者様の残存機能や課題の共有・検討の為、会議を開催している。ケアマネジャーも介護業務にあたる事で、各利用者様への理解を深めている。得られた情報はご家族様とも共有し、ケアプランへ反映させている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 充分にできている 75% ☐ B. ほぼできている 25% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアプランに沿った項目を日々の記録し実践している。サービス内容では個々の判断や捉え方の相違がない様に細かく記載している。	・業務標準について	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	どのスタッフが対応しても同じサービスが提供できるよう、日報・記録での共有を実施している。業務標準の重要性もご指摘いただいた。スタッフによって認識に相違があっては適切なサービスが提供できないので、今後も意識共有を図っていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている 12.5% ☐ B. ほぼできている 87.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様の状態に合わせた食事を提供し変更が必要な場合は看護師や職員で話し合い検討している。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☒ A. 充分にできている 12.5% ☐ B. ほぼできている 87.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	近くの公園やコンビニへの買物、天沼神社へお参りや馴染みのうどん屋等へ出かけている。知っている場所の時は思い出話も聞いている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたか、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている 87.5% ☐ B. ほぼできている 12.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	協力医やかかりつけ医へ、必要な受診の際は、施設送迎にて付添を行っている。情報を共有し指示を受けることが出来ている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている 62.5% ☐ B. ほぼできている 37.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアマネや看護師が中心となり病院の連携室の相談員の方との情報交換を行っている。退院時は施設の生活がスムーズにいくように、頂いた情報の注意点等を職員間で周知を努めている。	・入退院時の情報収集について	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院先の相談員・看護師から、入院中の病状や食事量・食形態の状況を確認している。また、リハビリの状況も確認し、可動域や動作に関する情報も得ている。退院後適切な介助ができるよう、医療機関との連携を図っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている 75% ☐ B. ほぼできている 25% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時に看取りの指針は伝え説明しご本人・ご家族様の意向を確認している。また状況に変化があった際には施設長・ケアマネご家族様と話し合いその都度確認しながら対応している。	・看取り時の家族のご意向について	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	創設時から入居いただいていた利用者様が看取り対応の下、10月にご逝去された。入居時の意思確認では、施設内での看取り対応を希望される方が多い。医師による「終末期」の診断時には、改めてご家族様の意思確認を実施し、対応している。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 87.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の初期対応や事故は慌てないように勉強会や研修を行っている。応急対応を学んだり、対応マニュアルもある為職員が確認できる環境下である。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 87.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回春と秋火災避難訓練と年1回の地震想定訓練を行っている。3日分の非常食や飲料水の備蓄もある。近隣の方々へは災害時の協力をお願いしている。	・災害時における対応について	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3日分の飲食物は備蓄されている。施設近隣にスタッフも多い為、緊急時には対応できるよう体制を整えている。連絡網やスマートフォンアプリを利用し、連絡手段も確保している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 87.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄や入浴時は羞恥心に配慮を心懸けている。生活歴やその方の性格を踏まえて自尊心を傷付けない言葉かけや態度に配慮している。	・職員のプライベートに関わる配慮について	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室やトイレへの入室時でのノックや言葉掛けを今後も徹底していく。各入居者様の生活歴・成育歴にアプローチしたケアに関し、改善点があるので、スタッフ間で共有を図っていく。入浴や排泄の介助に関し、同性スタッフでの対応を希望されている方もいるので、可能な限り応えていきたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 87.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の流れはあるが、個々のペースを大切に希望があれば対応し過ぎて頂いている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている 25% ☒ B. ほぼできている 75% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の調理レクやおやつ作りは一緒に料理している。イベントやリクエスト食では皆さんの希望や季節に合った食材を使用し楽しんで頂いている。	・出前や食事の楽しみについて	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の食事・イベント食・リクエスト食等により、入居者様に楽しんでいただけるよう努めている。他事業所の取り組みで、出張寿司店が好評だったとの事なので、検討していきたい。前民生委員の太田様より、そば打ちをご教授いただけたとのこと言葉をいただいたので、イベントとして企画・調整していきたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている 62.5% ☒ B. ほぼできている 37.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士によるメニューの為栄養バランスは考えられている。食事制限のある方や個別の状態に合った物を提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている 62.5% ☒ B. ほぼできている 37.5% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の歯科往診にて定期的にアドバイスを受けその都度心配な事は、相談し対応している。	・口腔ケア時の仕上げについて	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医の往診時、入居者様の磨き残しが多いとご指摘いただいた。スタッフへは口腔ケアの指導もいただいている。入居者様自身での手磨きでは限界があるので、スタッフによる仕上げ磨きや指導を実施し、口腔ケアの清潔保持に努めていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている 50% ☒ B. ほぼできている 50% C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限りトイレでの排泄が出来るように排泄チェック表を確認しながら、排泄パターンの把握に努めながら声掛けや誘導の支援をしている。排便は食事量や水分量等に注意し必要に応じて、便秘薬を医師から処方してもらっている。	・失禁について	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	失禁が続いた入居者様に対し、紙パンツ使用の前に様々なアプローチをし、現在も布パンツを使用できている事に関し、お褒めの言葉をいただいた。水分の摂取量は年間を通じ、大きな変化はない。排便に関しても、水分量や体操等により改善できるよう対応を検討していきたい。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 87.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	週3回の入浴をベースに行っている。体調が悪い時は、シャワー浴や清拭に変更している。風呂場では職員と1対1になるので好みの温度を聞いてリラックスできる時間となるように努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている 25% ☒ B. ほぼできている 75% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	声掛けや促しは行うが強制や強引な誘いはしていない。光や音が気になる方へは配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている 50% ☒ B. ほぼできている 50% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	往診や受診の際に服薬の変更があった時は、職員間で情報を共有し把握に努めている。	・服薬について	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人内他事業所では、服薬に関する事故報告が比較的多く聞かれるが、当事業所では少ない。配薬時・内服時・内服後の3段階でチェックを行っているので、今後も継続していきたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 75% ☒ C. あまりできていない 12.5% ☐ D. ほとんどできていない	家事・歌・買物等の役割分担があり個々の嗜好や能力を取り入れ、職員と楽しく協力し行っている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☒ A. 充分にできている 25% ☒ B. ほぼできている 75% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	夏の猛暑の影響で計画の変更はあったが、コンビニへ行ったりテラスにて日光浴をしたり庭のみかんの成長を見たりしている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている 62.5% ☒ C. あまりできていない 37.5% ☐ D. ほとんどできていない	現金は基本こちらでの管理となっている。入居者様がお金を所持して使用することはないが、欲しい物を一緒に購入や代行の支援はしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 62.5% ☒ C. あまりできていない 25% ☐ D. ほとんどできていない	年賀状と一緒に作成し出す支援は行っている。電話もタイミングが合えばつなぎ会話することは出来ている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないよう	☒ A. 充分にできている 25% ☒ B. ほぼできている 75% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	施設内は全てバリアフリーになっている。居室内は使い慣れた物を入居時持参頂いている。職員の担当制にしており、衣替え等で衣類を整理し快適に過ごせるようにしている。	・施設内居室の清掃作業について	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	残存機能の維持も含め、ホールや共有部分の清掃は入居者様にもご協力いただいている。居室の清掃に関しては、週1回以上の頻度でスタッフが実施している。居室の隅やエアコンの吹き出し口などの埃が気になるとのご指摘をいただいたので、改善していく。心地良い空間・環境に今後も配慮していきたい

		に配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている					
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 87.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共同生活の場である為全てが意向に沿っていないとは思われるが、出来る限り思いに寄り添い職員間でも共有している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている 25% ☒ B. ほぼできている 75% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	職員内で情報を共有して定期的にあセスメントを行っている。会議にて生活支援について検討しその方に合った支援を提供している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている 62.5% ☒ B. ほぼできている 37.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェックを行い、異変時は看護師や主治医に報告し指示を受けている。	観察力について	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	健康面・医療面に関しては毎日の食事量・水分量を計測し、看護師と共有している。安全面・環境面に関しても日々の身体状況・精神状態を考慮し、対応法や言葉掛けを実施している。どのスタッフでも統一されたケアが実践できるよう今後も努めていく。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☒ A. 充分にできている 25% ☒ B. ほぼできている 75% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様のこれまでの生活習慣や趣味を大切に、継続できるよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	☒ A. 充分にできている 75% ☒ B. ほぼできている 25% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時、居室には仏壇や馴染みの家具などを持って来て頂いている。また家族の写真を飾ったり、住み慣れた環境下に近づけるように支援している。	・馴染みのものや壁飾りについて	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居時には、使い慣れた家具や思い出の品物等が持ち込めることをお伝えしている。環境面の整備はもちろんの事、安全面にも配慮し対応を継続していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	☒ A. 充分にできている 25% ☒ B. ほぼできている 75% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	戸外に出掛ける機会は少ないが、庭やテラスに出て空気を吸って気分転換している。秋まつりやイベント行事へは、参加頂き楽しんでいる。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	☒ A. 充分にできている 12.5% ☒ B. ほぼできている 87.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者様の得意、不得意やできる事、出来ない事を職員が理解して入居者様に合った役割をもって頂いたり季節行事やレクリエーションなどで楽しんで頂いている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている ☒ A. 充分にできている 37.5% ☒ B. ほぼできている 62.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	フロアーにて入居者様同士集まり会話や交流されており、笑顔も見られている。また体を動かすことへは積極的に参加され、楽しみをもち生活されている。	・ 回想法や昔の話について	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	動画メディア等を利用しながら回想法を行っている。コミュニケーションがとれる入居者様が多いので、イベント時大変盛り上がる。日々のレクリエーションやイベントでもバリエーションが増やせるよう、スタッフ間でも検討していきたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている ☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている 50% ☒ C. あまりできていない 37.5% ☒ D. ほとんどできていない 12.5%	近隣や地域交流はほとんど出来ていない。今後は少しずつでも交流の場を増やしていきたい。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている ☒ A. 充分にできている 37.5% ☒ B. ほぼできている 62.5% ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	これからも安心安全な生活が送れるように、入居者様やご家族様からのご意見やご要望は状況に応じケアやお手伝いを行って参ります。入居者様同士の交流は楽しく送りその人らしい生活になるように努めて参ります。	・ 地域交流	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	新型コロナ感染以降、地域の方々との交流は少なくなっている。施設を利用して、地域の方々との交流ができると良いのでは？と指摘いただいたので、検討していきたい。今後の課題として捉え、サービスの向上に努めていく。